# 株式会社よべーる

**離床・徘徊防止センサー**

# 離床・徘徊・赤外線わかーる

## わかーる6100

## 取扱説明書
## 保証書

目次


安全上のご注意 …… 2
各部の名称 …… 6
充電池について …… 7
受信機の充電池の入れ方 …… 7
送信機の内蔵ニッケル水素充電池の交換 …… 7
設置と動作(送信機/受信機/フロアセンサー) …… 8
設置と動作(離床センサー) …… 9
設置と動作(赤外線センサー) …… 9
使用方法 …… 10
受信可能範囲の確認 …… 10
コード設定の仕方 …… 10
こんなときには・・・(故障とお考えになる前に) …… 11
保証書(保証規定) …… 12


### セット内容

送信機：1台　受信機：1台　　ACアダプター：2個（受信機・送信機共用）
ダストキャップ：1個
専用充電池：受信機用3本　　ニッケル水素充電池パック（送信機装着済み）
「離床わかーる」をご使用の場合：
離床センサーパッド　ワイドサイズ1枚
「徘徊わかーる」をご使用の場合：
徘徊防止用フロアセンサーマット1枚
「離床徘徊わかーるライフ」をご使用の場合：
ロングライフマット1枚
「赤外線わかーる」をご使用の場合：
赤外線センサー1台　9Vアルカリ乾電池1本　センサー接続ケーブル1本
保証書付き取扱説明書：1冊（本書）

このたびは「離床わかーる」「徘徊わかーる」「離床徘徊わかーるライフ」
「赤外線わかーる」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。取扱説明書に不明な点が
ございましたら、取扱説明書裏面の「お客様相談室」までお問い合わせ下さい。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

# ご使用前に必ずお読み下さい

■本製品はあくまでも介護者さんご自身が利用者さんの安全を見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありません。
万一なんらかの損害が発生したとしても一切の責任を免責させていただきますのでご了承下さい。

■一般家庭で一台でのご使用を目的とした製品です。同じ場所で複数台のご使用や、病院、施設などでの業務用にはご使用にならないでください。

■本製品は、無線を使用している為、周囲の環境などによって性能に大きな差が現れます。

■他の無線機器や電気機器などの影響を受ける場合や、影響を与える場合があります。

■受信機あるいは送信機が次のような場所にある場合は、電波がさえぎられて動作しない場合があります。

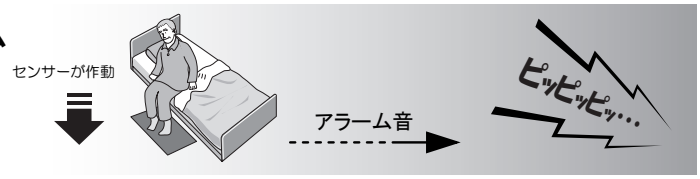
□鉄製のドアやシャッター越しなど
□鉄製の大きな家具（ロッカーなど）の近く
□地下室やガレージ（車庫など）
□鉄筋コンクリートの壁や鉄骨に多く囲まれている場所
（階段やエレベーターなど）

■初めてご使用になる場合や、設置場所を変えた時には、動作可能範囲を必ずご確認下さい。

## 徘徊わかーる

徘徊防止センサー

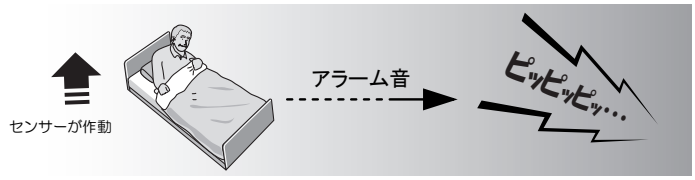
**マットを踏むとアラームでお知らせします！**




## 離床わかーる

離床センサー

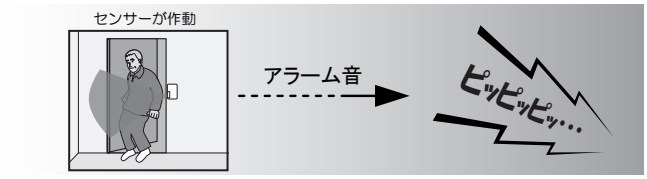
**離床するとアラームでお知らせします！**




## 赤外線わかーる

赤外線センサー

**赤外線センサーが検知するとアラームでお知らせします！**



# 安全上のご注意

■本製品を正しく安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この安全上のご注意をよく読んで正しくお使いください。

※品質、性能向上、その他の事情で部品を変更することがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防ぐ為の内容を記載しています。必ずお守り下さい。

■次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。** |
| ⚠ **注意** | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。** |

※「注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|---|---|
| 禁 止 | 禁止（してはいけないこと）を示します。 |
| 分解禁止 | 分解してはいけないをことを示す記号です。 |
| 濡れ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |

| | |
|---|---|
| 水濡れ禁止 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしてはいけないことを示す記号です。 |
| 指 示 | 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |
| | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

## ⚠ 警 告

### 万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。

**次のようなときは、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターを使用している場合はコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。**

ACアダプターをコンセントから抜く

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
  お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- **本機の内部に水や異物などが入った**
- **プラグやコード類が異常に熱くなった**
- **落としたり、破損した**

分解禁止

### 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水ぬれ禁止

### ぬらさない

本機をぬらさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

禁　止

### 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしない

発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁　止

### ＡＣアダプター接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより火災の原因となります。

- ●ＡＣアダプターはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- ●コードは束ねたまま使用しない。
- ●コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしない。（たこ足配線など）

ぬれ手禁止

### ＡＣアダプターを抜くときの注意

- ●ぬれた手でＡＣアダプターの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。
- ●ＡＣアダプターを抜くときは、ＡＣアダプター本体を持って抜いてください。コードを引っぱるとコードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。
- ●電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
  破損し、感電や故障の原因となります。

禁　止

### 電源電圧 100V 以外で使用しない

表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

指　示

### 差し込み部分は定期的に点検をする

定期的にＡＣアダプターを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、汚れなどを取り除いてください。ほこりによりショートや発熱が起こり、火災の原因となります。

指　示

### 植込み型心臓ペースメーカーを装着の方は装着部から30㎝以上離して使用すること

電波により植込み型心臓ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

禁　止

### 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

### 乾電池は使用しない

本機にはＡＣアダプターを介する充電機能が内蔵されています。このため乾電池を使用すると、電池の破裂、液漏れによる火災、怪我の原因となります。

禁　止

### 充電池使用上の注意

充電池の使い方を誤ると、充電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
次のことをお守りください。

- ●指定以外の充電池は使用しない。
- ●極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる。
- ●種類の異なるものや、新旧の充電池を混ぜて使わない。
- ●充電池を分解したり、火や水の中に投入しない。
  ショートさせない。
- ●ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
- ●長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、充電池を取り出しておく。
  もし、液もれが起こったときは、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい充電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- ●一般のゴミと一緒に捨てない。
  発火・環境破壊の原因となることがあります。
  不要となった充電池は端子にテープなどを貼り絶縁してから回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁　止

### ＡＣアダプターのコードを傷つけない

無理な使い方をするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- ●コードの上に重いものを乗せる。
- ●途中でつぎ足したりして加工する。
- ●無理に折り曲げる。
- ●傷をつける。
- ●ねじったり、引っ張ったりする。
- ●熱器具に近づける。

ＡＣアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

禁　止

### 近くに精密機器がある場所では使用しない

周辺機器への影響や本機が影響を受ける事による重大事故の原因となることがあります。

# ⚠ 注 意

禁 止

**使用中の情報機器やテレビ・音響機器の近くに置かない**

テレビなどに雑音が生じたり、磁気ディスクに悪影響を与える原因となることがあります。

禁 止

**本機の上に重いものを置かない**

本機の故障の原因となることがあります。

禁 止

**設置場所に注意**

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。
  火災、故障の原因となることがあります。
- 使用条件温度（0℃～40℃の間）以外では使用しないでください。
  故障の原因となることがあります。

禁 止

**不安定な場所に置かない**

不安定または振動の多い場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁 止

**電気毛布・電気あんかなどの電気製品と同時使用しない**

本機の故障や感電の原因となることがあります。

**長期間使用しない場合やお手入れの際の注意**

安全のためＡＣアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

禁 止

**所定の位置以外で折り曲げない**

離床センサーパッドやフロアセンサーマットを所定の位置以外で折り曲げると、センサー故障の原因となることがあります。

# 電波について

2.4FH 4

■本機の使用周波数に関わるご注意

本機は、2.4GHｚ帯の電波を使用する無線設備です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機のＡＣアダプターを抜いて、お客様相談室（☞１２ページ）にご連絡いただき混信回避のための処置等（例えば、パーティションの処置等）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合等何かお困りのことが起きたときは、お客様相談室（☞１２ページ）へお問い合わせください。

# 電波干渉について

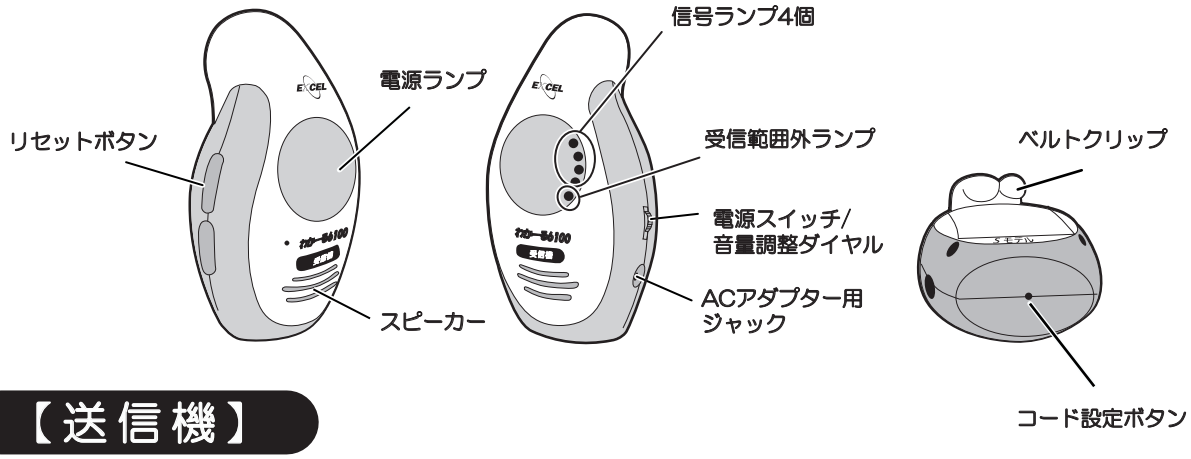
本機は、2.4GHｚ（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯では、電子レンジや無線LAN機器などが電波を使用していますので、電波干渉により、動作不良をおこす場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。

# その他

■分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際はお買上げの販売店に修理をご依頼ください。）

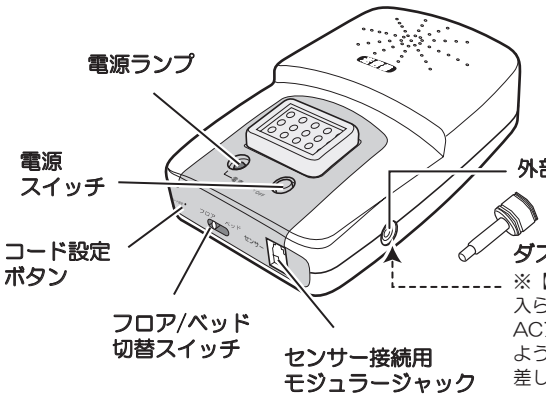
# 各部の名称

## 【受信機】

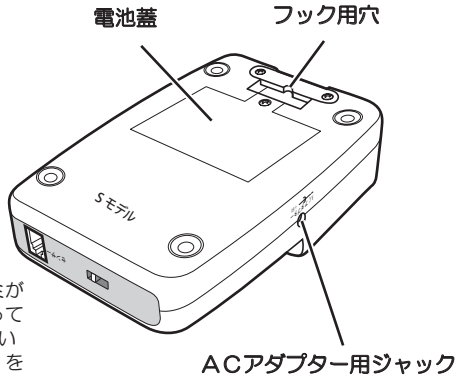



## 【送信機】

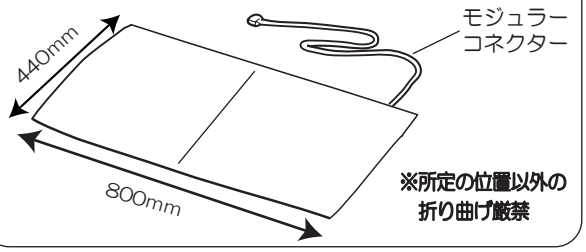
〈前面〉




〈背面〉

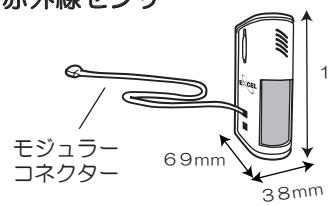



### 徘徊わかーる用 フロアセンサーマット



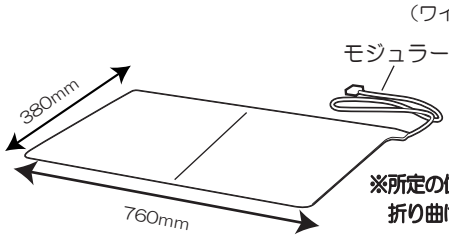

**※所定の位置以外の折り曲げ厳禁**

### 赤外線わかーる用 赤外線センサー



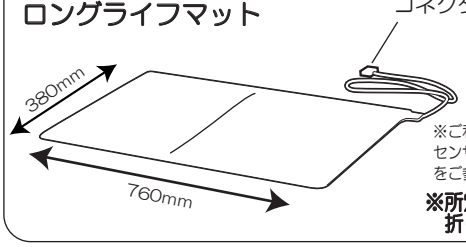

※専用オプション以外は絶対に取り付けないでください。

### 離床わかーる用 離床センサーパッド（ワイドサイズ）




**※所定の位置以外の折り曲げ厳禁**

### 離床・徘徊わかーるライフ用 ロングライフマット



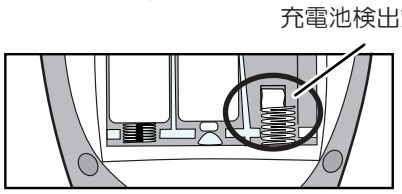

※ご利用方法は、フロアセンサー、離床センサーをご参照ください。

**※所定の位置以外の折り曲げ厳禁**

# 充電池について

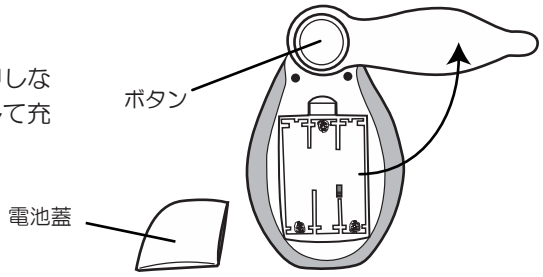
- 送信機の充電池の容量が少なくなると送信機の【**電源ランプ**】は点滅します。
- 受信機の充電池の容量が少なくなると受信機の【**電源ランプ**】は点滅します。
- 送信機・受信機ともにACアダプターを接続すると自動的に充電が開始されます。
- 充電時間：電源OFFで充電した場合、送信機・受信機ともに10時間でフル充電になります。

受信機の充電池は付属の充電池でなければ充電出来ません。
電池ボックス内に充電池検出端子が付いています。




# 受信機の充電池の入れ方

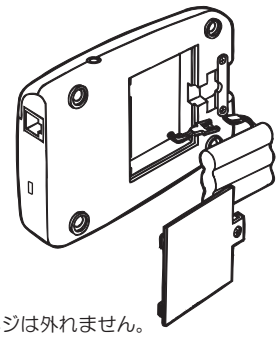
右図のようにベルトクリップのボタンを押しながらベルトクリップを回し、電池蓋を外して充電池を入れます。




# 送信機の内蔵ニッケル水素充電池の交換

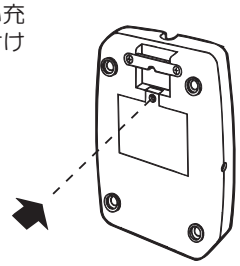
長期に渡って本製品を使用しつづけますと、内蔵電池の充電と放電をくり返すことになります。
フル充電しても携帯使用時間が極端に短くなった場合は充電池の寿命と考えられますので下記の手順で内蔵ニッケル水素充電池パックを交換してください。（※電池蓋以外のネジは絶対に回さないでください。）

① 送信機の裏面部の電池蓋のネジを外してケースを開きます。



※電池蓋からネジは外れません。

② 古くなった充電池を取り外し新しい充電池を取付けます。



③ 充電池をセットして、電池蓋をネジで取付けます。

| ⚠注意 | ● 規格(NHP-3AA)以外の充電池は絶対に使用しないで下さい。発火や故障の原因となります。<br>●新しい充電池は、充電されいてない場合がありますので充電してから使用してください。 |
|---|---|

※ 地球環境を守る為、使用済みのニッケル水素充電池のリサイクルにご協力ください。

# 設置と動作

ご使用になる前に、必ず送信機と受信機は電源をOFFの状態で付属のＡＣアダプターを接続して10時間以上充電を行なってください。

## 受信機の設置と動作

**1.** 固定して使用する場合：
ACアダプターのプラグを受信機の【ACアダプタージャック】に差し込み、コンセントに接続します。

携帯して使用する場合：
受信機の背面にある電池蓋を外し、電極⊕⊖を確かめて付属の専用充電池3本を電池ケースに入れます。

携帯する場合は、必ずＡＣアダプターをコンセントから抜き、受信機から外してからご使用ください。ＡＣアダプターを接続したまま移動すると、コードが切れたり抜けたりして怪我や故障の原因となります。

**2.** 【電源スイッチ】をONにして、音量を調節します。電源が入り【電源ランプ】が赤く点灯します。

## 送信機の設置と動作

送信機は充電池でも使用可能ですが、電池切れを避けるためにACアダプターを接続してのご使用をお勧めします。充電池は停電時などの予備としてご使用ください。

**1.** 送信機を利用者さんの近く（枕元などの周辺1～3m以内）に置きます。
送信機背面の【フック用穴】を利用して、壁に掛けて使用することもできます。

**2.** ACアダプターのプラグを送信機の【ACアダプター用ジャック】に差し込み、コンセントに接続します。

「徘徊わかーる」「赤外線わかーる」をご使用の場合：

**3.** 送信機に「フロアセンサーマット」を接続します。

**4.** 【フロア/ベッド切替スイッチ】をフロア側にセットして【電源スイッチ】をONにします。電源が入り【電源ランプ】が赤く点灯します。

「離床わかーる」をご使用の場合：

**3.** 送信機に「離床センサー」を接続します。

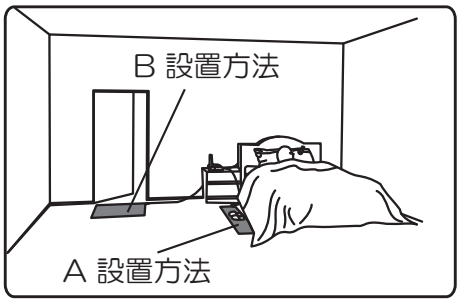
**4.** 【フロア/ベッド切替スイッチ】をベッド側にセットして【電源スイッチ】をONにします。電源が入り【電源ランプ】が赤く点灯します。

## 徘徊わかーるご利用の場合：「フロアセンサー」の設置と動作

徘徊の危険のある利用者さんがベッドから降りたり、部屋から出ようとした時に検知するために使用します。

**1.** ベッド横（A設置方法）や部屋の出入り口（B設置方法）など利用者さんの行動パターンや動きの速さに応じて設置して使用します。

「徘徊防止用フロアセンサーマット」の設置例




※お部屋の状態によって設置場所を工夫する必要がある場合があります。

**2.** 送信機/受信機を左記のとおり設置して、送信機に「フロアセンサーマット」を接続します。

**3.** 【フロア/ベッド切替スイッチ】をフロア側にセットして【電源スイッチ】をONにします。電源が入り【電源ランプ】が赤く点灯します。

**4.** 利用者さんが「フロアセンサーマット」を踏むと、受信機からアラーム音が鳴り介護者さんに知らせます。

## 離床わかーるご利用の場合：「離床センサー」の設置と動作

転倒や徘徊の危険のある利用者さんが、ベッドから起き上がろうとした時に検知するために使用します。

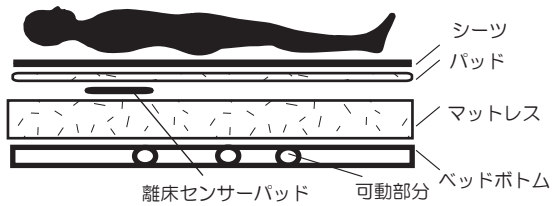
1. 「離床センサーパッド」の置き方は利用者さんの状況により異なります。『離床センサーパッド設置方法』、『離床センサーパッドの設置位置』をご参照ください。
2. 受信機/送信機をP.8のとおり設置して送信機に「離床センサー」を接続します。
3. 【フロア/ベッド切替スイッチ】をベッド側にセットして【電源スイッチ】をONにします。電源が入り【電源ランプ】が赤く点灯します。
4. 利用者さんが離床センサーパッドを設置したベッドから離床すると、約2秒～3秒後に受信機からアラーム音が鳴り介護者さんに知らせます。

## 離床センサーパッド設置方法

ご使用の寝具とご利用者さんの間に設置し、利用者さんの加圧重力を「離床センサーパッド」でモニターするものです。寝具によっては、離床センサーパッドが動作しない場合があります。

**パッドを使用している場合**

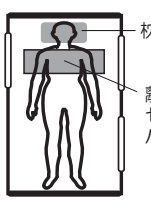
●パッドとマットレスの間に入れてください。




## 離床センサーパッドの設置位置

利用者さんの状態と主な使用目的によって設置位置が異なります。下図イラストを参考にし、適した設置位置（置き場所と傾き）を工夫してご使用ください。

**転倒・転落される方 ▶ 背中置き**




転倒の恐れがある場合は〔背中置き〕とします。少しの寝返りなどでも受信機からアラームが鳴るようにセットすることで転倒を事前に防ぐことや大事に至る前に助けることができます。

体重の軽い利用者さんの場合センサーが正常に反応しない場合もあります。

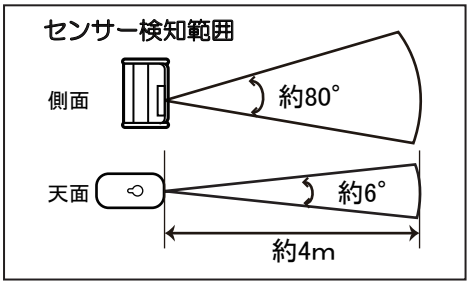
## 赤外線わかーるご利用の場合：「赤外線センサー」の設置と動作

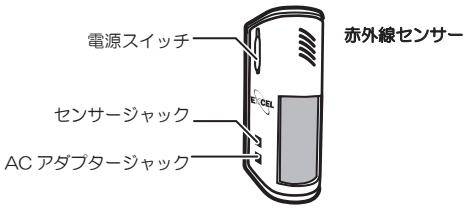
転倒や徘徊の危険のある利用者さんが、ベッドから起き上がろうとした時やドアから出ようとしたとき検知するために使用します。

1. 【センサーケーブル】を赤外線センサーの【センサージャック】に接続し、もう片方の先のモジュラージャックを「わかーる」の送信機の【センサージャック】に接続して、【センサー切替スイッチ】を【フロア】にセットします。
2. 「赤外線センサー」の検知範囲内に障害物が無いことを確認して赤外線センサーの【電源スイッチ】を ON の位置にスライドし、送信機の【電源スイッチ】を ON にします。
3. 利用者さんが「赤外線センサー」をさえぎると受信機からアラーム音が鳴り介護者さんに知らせます。

## 「赤外線センサー」設定

1. 赤外線センサーに乾電池（9V）を入れるか、AC アダプター（別売）に接続してコンセントに差込ます。
2. 【電源スイッチ】を【テスト】の位置にスライドして【テストモード】にします。
3. 【テストモード】では人が赤外線検知範囲内で動く度に赤外線センサー自体のアラームが【ピッ】と一回鳴ります。【実モード】ではアラーム音は鳴りません。（受信機のアラームが鳴ります。）
4. この【テストモード】で赤外線センサーの設置場所、角度等を適切な検知範囲となるよう調整します。




電源 ON 時およびテストモードからの切替時にセンサー機能が安定するまで約 16 秒かかります。

# 使用方法

## 徘徊わかーるをお使いの場合

**利用者さんが「フロアセンサーマット」を踏むと：**

「ピッピッピッ…」と受信機からアラーム音が鳴ります。
アラーム音を止めるには、受信機の【リセットボタン】を押します。

## 離床わかーるをお使いの場合

**利用者さんが「離床センサーパッド」から離床すると：**

**約2秒～3秒後**に「ピッピッピッ…」と受信機からアラーム音が鳴ります。
アラーム音を止めるには、受信機の【リセットボタン】を押します。

## 赤外線わかーるをお使いの場合

**利用者さんが「赤外線センサー」をさえぎると：**

「ピッピッピッ…」と受信機からアラーム音が鳴ります。
アラーム音を止めるには、受信機の【リセットボタン】を押します。

受信機のアラーム音の音量は【**音量調節ダイヤル**】で調整できます。

離床わかーるお使いの際、アラーム音を止める前に再度着床しても、アラーム音は止まりません。

送信機からの電波が届かない場所に居る場合は、【**受信範囲外ランプ**】が**赤く点灯**します。
【**受信範囲外ランプ**】が消灯する場所に移動してください。

送信機・受信機を充電池でご使用の場合は、ご使用後の電源の切り忘れに十分ご注意ください。充電池の消耗が早くなります。

# 受信可能範囲の確認

使用を開始する前に、必ず受信範囲の受信状態を確認してください。

1. 8ページの『送信機の設置と動作』と『受信機の設置と動作』にしたがって送信機と受信機を実際に使用する場所に置きます。
2. フロアセンサーマット、離床センサーパッドや赤外線センサーを動作させます。
3. 受信機で受信し、アラーム音が鳴るかどうかで受信状態を確認します。

受信機を携帯してご使用の場合は、移動が予想される全ての場所で、それぞれ受信状態を確認してください。

4. 確実に受信していることを確認出来た場所でのみご使用ください。

- 携帯して使用する場合は充電池の残量が少なくなると、送信/受信能力が低下しますのでご注意ください。
- 通信は電波によるものですので、環境によっては外来電波と干渉する場合があります。

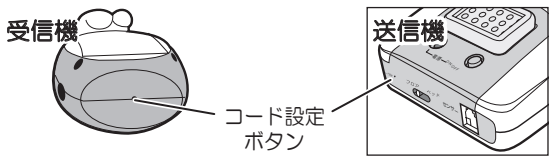
# コード設定の仕方

使用環境により外来電波と混信した場合は、受信機と送信機のコードを再度設定することが出来ます。

1. 送信機の【**電源スイッチ**】を入れ、送信機側面の【**コード設定ボタン**】を細いピンなどで押します。【**電源ランプ**】が**点滅**します。
2. 送信機の【**電源ランプ**】が点滅している間に、受信機の【**電源スイッチ**】を入れ、受信機底面の【**コード設定ボタン**】を細いピンなどで押します。
3. 送信機の【**電源ランプ**】は**点灯**に変わり、コード設定は完了です。

コードは**65000通り**あります。

受信機から「コード設定」も可能です。
その場合は受信機の【**コード設定ボタン**】を押し、受信機の【**電源ランプ**】と【**受信範囲外ランプ**】が点滅している間に送信機の【**コード設定ボタン**】を押します。
「コード設定」が完了すると受信機の【**電源ランプ**】は点灯に変わり、【**受信範囲外ランプ**】は消灯します。



# こんな時には・・・（故障とお考えになる前に）

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| **■送信機について** | | |
| スイッチを入れてもランプがつかない | ACアダプターが正しくつながっていない | ACアダプターを正しくつなぐ |
| | 充電池の容量が少ない | ACアダプターで充電する |
| | 充電池が正しく入っていない | 充電池を正しく入れる |
| フロアセンサー／離床センサー/赤外線センサーのコードがすぐ抜ける | 本体コネクターにしっかり接続されていない | フロアセンサー／離床センサー/赤外線センサーのコードを「カチッ」とロックするまで押し込む |
| フロアセンサー／離床センサー/赤外線センサーのコードが本体から外れない | 本体にロックされて接続されている | コネクターのロックを解除して外す |
| フロアセンサーを踏んでもアラームが鳴らない/離床センサーから離床してもアラームが鳴らない/赤外線センサーの前を通ってもアラームが鳴らない | 受信可能範囲でない | 受信機機を受信可能範囲に移動する |
| | 受信機/送信機の充電池の容量が少ない | ACアダプターで充電する |
| | それぞれのセンサーが正しく接続されてない | それぞれのセンサーを正しく接続する |
| 使用方法通りにアラームが鳴らない | フロア/ベッド切替スイッチが正しく設定されていない | 使用するセンサーに合わせてフロア/ベッド切替スイッチを設定する |
| **■受信機について** | | |
| スイッチを入れてもランプがつかない | ACアダプターが正しくつながっていない | ACアダプターを正しくつなぐ |
| | 充電池の容量が少ない | ACアダプターで充電する |
| | 充電池が正しく入っていない | 充電池を正しく入れる |
| 携帯使用が出来ない | 充電池の容量が少ない | ACアダプターで充電する |
| | 充電池が正しく入ってない | 充電池を正しく入れる |
| 外来電波と混信する | 外来電波の影響を受けている | 再度コード設定をする |

※上記の「処置」を施しても症状が変わらない場合は、お買い求めの販売店、またはお客様相談室へご連絡ください。

# 主な仕様一覧

| 項目 | 送信機 | 受信機 |
|---|---|---|
| 電源 | 6V専用ACアダプター | |
| | ニッケル水素充電池パック | 単4形ニッケル水素充電池　3本 |
| 無線到達距離 | 約100m（直線見通し距離） | |
| サイズ | 幅105×奥行150×高さ50（mm） | 幅60×奥行55×高さ110（mm） |
| 質量 | 260ｇ | 130ｇ |
| フル充電所要時間 | 10時間（電源OFF状態） | |
| フル充電時使用可能時間 | 10時間 | 8時間 |

※本製品は送信機・受信機ともにニッケル水素充電池でも使用可能ですが、電池切れを避けるため、専用ACアダプターに接続してのご使用を推奨しております。

※製品の仕様は、改良などの理由により予告なしに変更する場合があります。

# 保証書（保証規定）

1. 「離床わかーる」「徘徊わかーる」「離床徘徊わかーる」「赤外線わかーる」はお買い上げの日から 1 年間保証いたします。
2. お客さまが取扱説明書に従った使用状態のもとで、保証期限内に万一故障した場合には、無償で修理または交換をさせていただきます。
3. 保証期限内でも次のような場合は有料修理とさせていただきます。
   ① 本保証書のご提示のない場合
   ② 本保証書にお客さま名、お買上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
   ③ 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   ④ 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の仕様電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
   ⑤ お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   ⑥ 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷
4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
   ＊ 故障品の修理を円滑にかつ迅速に行うため、修理をご希望の際は、お買い上げ店またはお客さま相談室まで保証書を添付のうえ、ご郵送ください。
   受信機か送信機のどちらの故障かわからない場合は、両方ともご郵送ください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 品番 | 受信機 | NRM-6100SP(B) | 問合せ先 | **お客様相談室**<br>株式会社よべーる<br>〒761-8054　香川県高松市東ハゼ町681-1<br>TEL:　087-867-1430<br>FAX:　087-869-2701<br>http://www.yobe-ru.jp |
| | 送信機 | NRM-6100SC(B) | | |
| セット品番 | 離床わかーる | SR6100-W | | |
| | 徘徊わかーる | SH6100 | | |
| | 離床徘徊わかーる | SRH6100-LS | | |
| | 赤外線わかーる | SH6100-MS2 | | |
| 製造番号 | | | | |
| 保証期間 | ＊お買い上げ日から１年間<br>お買い上げ日<br>年　月　日 | | | |
| お客様 | ご住所 | 〒 | | |
| | お名前 | （フリガナ） | | |
| | TEL | 市外局番　（　） | | |

| 販売店 | **製造元**<br>株式会社エクセルエンジニアリング<br>**発売元**<br>株式会社よべーる<br>〒761-8054　香川県高松市東ハゼ町681-1<br>TEL:　087-867-1430<br>FAX:　087-869-2701<br>http://www.yobe-ru.jp |
|---|---|